



しおかぜ



7月より修練再開します

塩竈道院・仙台杜都道院の両道院は、新型コロナウイルスの感染拡大により、3月1日より修練を休止し、その後、当分の間（期限を決めずに）の修練を休止としました。本日で95日目となりました。

5月21日に緊急事態宣言も解除され、本山からも活動禁止の解除が打ち出されました。しかし、数は少ないにしろ新たな感染者が出ており、気を抜けない状態です。

塩竈道院と仙台杜都道院は今後の状況を見きわめ、7月1日より修練を再開したいと考えております。



ホームページ再リニューアル

2000年、ホームページを開設し、ブログ「拳士のひろば」やフェーブック「少林寺拳法塩竈道院・仙台杜都道院」をリンクするなどし、2016年にリニューアルし運営してまいりました。

2020年3月にプロバイダーも変え再り

リニューアルを図りました。まだ、作業中ではありませんがご覧ください。ご意見等もお寄せ下さい。

大澤隆管長 縁起

合掌 6月に入りました。特別措置法に基づく緊急事態宣言が解除され、徐々に日常の生活が戻りつつあります。戻りつつあると言っても、「新たな生活様式」に表されるように、生活環境も以前とは変わっていくのではないかと思います。



開祖が少林寺拳法を創始された戦後の世の中は、今と同じように新しい時代へと変わっていく時だったのではないのでしょうか。これまで当たり前と思っていたものが当たり前でなくなり、以前にはなかった価値観が生まれつつあるのに、人心は荒廃したまま。何とかしなければいけないと見つけた光明が釈尊の正しい教えと達磨の遺法を今に生かすことでした。

今回の新型コロナウイルスの脅威により、人が集まるとの活動を自粛せざるを得なくなり、活動をいったん休止した道院、WEBを使つてなんとか活動を継続した道院もありました。直接顔を合わせて、手と手を取り合つて修行し、人の温もりを感じ、共に成長を喜び合うということがどれだけあり

がたいことだったか実感した期間だったので、はないでしょうか。

今後の道院活動の在り方もあるときはWEB上で、ある時は顔を合わせて行うなど

金剛禅総本山少林寺全景



今後の予定

- ◎ 6月 7日(日)10:30から12:00 宮城県教区・宮城県連会議&総会(塩竈道院専有道場)
- ◎ 6月27日(土)18:00から 一般拳士会(えいふく:塩竈市尾島町)
- ◎ 7月 1日(水)仙台杜都道院修練開始・開祖忌法要(古城コミュニティセンター)
- ◎ 7月 2日(木)塩竈道院修練開始・開祖忌法要(塩竈道院専有道場)

変化していくのではないかと思えます。その時代に必要なことを開祖が生み出したように私達も今、試されているのかもしれない。今後、画面上でも伝えられること、直接でなければ伝わらないことがよりはつきりと淘汰され、大事なもののだけが残っていきます。その時に私たちはこの社会に必



仙台杜都道院の絵本タイムで

要な教団であると胸を張って言えるようでありたいと考えます。

身心一如の存在である私たち霊止(ヒト)は体感なしでは生きられませんし、自分の身体と心は自分で整えていかなければなりません。自粛疲れや運動不足、屋内環境でのストレス。コロナの次は夏の暑さに負けないうよう、自分で自分をコントロールし、金剛禅運動を推進できる身体を作り上げていきましよう。

合掌再拝

中国古典 紹介

「過ぎたるはなお及ばざるがごとし」を掲載 『論語』

孔子の弟子に子貢という人物がいた。頭が切れるうえに弁も立ち、実業家としても立派な成功を収めている。この人はまた人物評価も好んだらしい。あるとき、若い弟子の子張と子夏をサカナにして、孔子の意見を求めた。

「子張と子夏とでは、どちらがすぐれているでしょうか」

孔子が答えるには、「子張は度が過ぎている。子夏は度が足りない」

子張はお先走りの傾向があり、子夏は引

つ込み思案な性格であつたらしい。孔子は、それを言ったのである。

子貢が、「では、子張のほうがすぐれているわけですね」と念を押したところ、孔子は答えたという。

「過ぎたるはなお及ばざるがごとし」。過ぎていけない。バランスのとれた人間像が理想なのだよ、と孔子は言っているのだ。

仙台杜都道院の絵本タイムで (かみしばい)

